

しょうがくせい みな  
小学生の皆さんへ

あたら せいかつ がっこうせいかつ はじ な した うご かた  
新しい生活のしかたでの学校生活が始まってきています。つい慣れ親しんだ動き方をしてしまい、はっとさ  
せられることがあります。きんちよう 緊張しすぎず、でもしなければいけないことを守りながら、新しい生活のしかたが  
しぜん  
自然になっていくといいですね。

がつ つき きょう いちどおも お  
6月が「みこころの月」であることを、今日はもう一度思い起こしてみてください。「みこころ」というと、多くの  
ひと しょうがっこうもん ひだりかわ た ぞう おも だ りょうて ひろ た  
人は、小学校門の左側に立っている「みこころのご像」を思い出すことでしょう。両手を広げて立っておられ  
るイエス・キリストの足元の台には、「我に來れ」と書いてあります。英語であれば「Come to me!」です。イ  
エス様のみこころがどんな心であるか、最もよく教えてくれているイエス様ご自身の言葉が「みこころのご  
ぞう きざ つか おも おもに お もの き やす  
像」には刻まれているのです。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに來なさい。休ませてあ  
げよう。」(マタイによる福音書11:28)

て あ きんきゅうじたい て あ こころ からだ げんき て わたし  
これまで出会ったことのないような緊急事態に出会い、心も体もなかなか元気が出ない私たちです。「こ  
れからはいろいろなことによく注意しながら生活しなければならないし、これがいつまで続くことになるのかわか  
らないし・・・」と考えるだけで、私たちの心は重荷で一杯になるのではないのでしょうか。ほっとしたいとい  
わたし こころ ねが おも  
のが、私たちの心からの願いだと思えます。

みな おな がっこう わか どうこう  
皆さんをこれまでと同じように学校に迎えてくださるのは「イエスのみこころ」です。登校してきたら、ぜひ、  
「みこころのご像」を仰ぎ見てください。イエス様の心の中に入れていただきましょう。そして、「休ませてあげ  
よう」と招いてくださるイエス様のふところの中で、ほっとさせていただきましょう。そうしたら、きっと心は軽く  
ひ す おも  
なって、よい日を過ごすことができると思います。

